



例年より数週早い梅雨入り。

車の水はねで水浸しに。運転する時には注意したいものです。

令和3年5月17日(月) no.8 文責：上田


## 感染急増 人との関わりを絶やさず

熊本県に昨日16日(日)から『まん延防止等重点措置』が適用されることになりました。適用の目安として国のステージ3(感染急増)相当であれば『まん延防止等重点』、ステージ4(感染爆発)相当であれば『緊急事態宣言』が検討されることとなりますが、今回、熊本県は、国のステージ4、県リスクレベル5の維持と判断されました。

学校においては、これまで同様に、児童生徒や同居家族に発熱等のかぜ症状が見られる場合には出席停止の措置をとることや、登校時の健康観察の確認を行うとともに、学校内における感染リスクを可能な限り低減する対策を講じて教育活動を行っています。対策を講じて感染リスクを「0」にはできないため、今後も家庭での感染防止対策を強くお願いせざるをえません。家族の感染が疑われる際は躊躇なく学校への連絡をお願いします。健康観察カードで(検温)測定忘れが日によっては数名いることがあります。感染対策を、まずは家庭で徹底していただくことを重ねてお願いします。

また、「もし、自分の子どもや家族が感染したら・・・」と考えてみると、差別や偏見を生まないことの大切さに気づいていただけるのではないのでしょうか。誰もが感染しうる状況です。差別や偏見を許さない言動が求められます。子ども達にその範を示すことも私たち大人がしなくてはならないことです。皆さんもコロナによる閉塞感が感じられているかと思います。飲食に限らず、人と人との関わり合いに不自由さを覚えますし、これまで当たり前であった催事や仕事の在り方も「感染症防止」ということで形を変えています。しかし、そんな今だからこそ、人との接し方として相手を思いやる気持ちを表すことが求められます。毎朝、小森のコンビニ前の信号で子どもたちの登校の様子を見守っていると、通勤途中の名前も知らない運転手や散歩の地域の方とあいさつや会釈を交わします。励まされているように感じ、ありがたくもあります。

児童生徒・保護者・地域の皆様へ  
 ~自分の人権を守り、他者の人権を守る責任ある行動~



だれだって  
いつだって  
感染しうるから、



思いやりの咳エチケット 差別や偏見は許されない

手洗いでウイルスと不安を洗い流そう! 三密を避けましょう 換気でウイルスを吹き飛ばそう

こまめな手洗いが何よりも大切です。

「新しい生活様式」を身につけ、  
自分や大切な人の命を守りましょう!